

さいとう先生の！

H28. 12月6日号

インドムンバイ新聞

ムンバイ日本人学校
さいとうえいこ

インド 自然科学館情報!



イベントで万華鏡を作ったり、実験をしたりもしていますよね。夏休みに自由研究で調べ物に行った人もいるんじゃないかな？さいとうは、自然科学館のプラネタリウムがだーい好きです(*^_^*)

そんな自然科学博物館。ムンバイにもあるんです！その名も Nehru Science Centre (ネールー・サイエンス・センター)。インド最大の科学センターとも言われています。『エネルギー』とか『音』とか『運動学』とかいろいろなジャンルの科学的な体験、実験が楽しくできる施設です。

まず、入り口には、恐竜の像がズラリ。日本でも恐竜の骨が出土するくらいですから、インドにはきつともっとたくさんの恐竜がいたんでしょね。



な、生首？
いえ。鏡のマジック！
トリックアイです。

みんな興味深く展示物を見て楽しんでいました。修学旅行とか学校の行事とかなのか、大きいバスもたくさんと停まっていた。

みんなが新潟の自然科学館で「わー、理科って面白いなー。」って思うように、インドの子どもたちもそう思っているんだよね。そうして、理科が得意な人たちが育って行って、世界中の理科の勉強家たちが、これからの未来を作っていくんだなーなんて思いました。

鳥屋野小学校のみなさ～ん！お元気ですか？
インドムンバイ日本人学校のさいとう先生です(o^_^o)ノ

12月に入りましたねー。毎日、寒いんだろうなー。クリスマスモード色なんだろうなー。イルミネーション、きれいなんだろうな…。今日の全校朝会で、生徒会長さんが「冬休みまでもう少しです。暑さに負けずに、頑張りましょう！」ってあいさつしました。何か、不思議でしょう？それだけ、毎日暑いインドです(口`;))

さて今回のムンバイ新聞はインド自然科学館情報をお送りします。



鳥屋野小学校の近くにある、新潟市自然科学博物館。みんなも何度も行ったことがあると思います。いろいろな展示物や体験コーナー。時々



突然部屋の真ん中にある、
巨大な顔。びっくりします。

中に入ると、たくさんの楽しそうな展示物が！特に印象に残ったのは、人体の科学についての展示です。大きな顔の展示。脳のどの部分で、どういう働きをしているかがスイッチを押すと光ってわかります。同じように大きな舌(べろ)もあつたよ。

『音』のコーナーでは、歩いて演奏するピアノとか、ヴァーチャルドラム、見えない音波が飛んでいて手をかざすと音のするエアハープなんていうのもありました。それが、全部、英語やヒンズー語の説明付きで展示されているんだけど、そういう体験のものって、難しい説明が無くても楽しいし、やっているうちに意味がわかったりするよね？だから、さいとうみたいな外国人とか、文字がよくまだわかんない小さい子どもでも十分楽しい！紹介しきれないくらい、体験しきれないくらいのお客さんの展示物を見て周りながら、楽しく勉強ができる、そんな自然科学館でした。

さいとうが行ったときは、たくさんのお客さんが自然科学館に来ていました。小さい子ども小学生くらいのお客さんも大勢いて、



「音」のコーナー。楽しんで音について学べます。歩いて弾くピアノ！！